



農業への投資は飢えと貧困を減らす鍵となる ©FAO/Johan Spanner

## Contents

Top -----

食料安全保障に関する  
世界サミット

Articles -----

世界食料デー 2009

サウジアラビア、  
FAOのサミットに資金提供

雑草の潜在的な脅威

ハイチ農業復興の息吹

七面鳥にH1N1インフルエンザ  
感染が広がる恐れ

Perspectives ---

今月の視点

農村における  
女性の雇用機会の拡大

Activities -----

関連イベント

講演

Info -----

今後の主な活動予定

## 食料安全保障に関する世界サミット

—FAO、11月16-18日にローマ本部で開催予定

ジャック・ディウフFAO事務局長は、11月16-18日にFAOローマ本部にて開催が予定されている食料安全保障に関する世界サミットでの合意を目指した宣言に関する議論への参加を呼びかけるとともに、FAOと国連の加盟国に対し「食料安全保障に関する世界サミットの目的と可能な決定に関する事務局提案」と題する文書を送付しました。この文書は、国際的な食料安全保障を管理・実施する新しい仕組みのあり方や、農業投資の拡大、緊急食料支援、食料危機時の対応の迅速化、貿易、農民支援、気候変動対策などを提起し、各国内における政府、民間部門、農業者、NGO等を含めた関係者間にお

ける議論を喚起することを目的としたものです。(7/31、ローマ)

また、FAOはこのサミットについて理解を深めていただくための専用ウェブページを設けました。関連の資料やニュースなどもご覧いただけます。主な情報はFAO日本事務所のウェブサイトでも日本語でご紹介しています。

## 関連ウェブサイト

World Summit on Food Security : [www.fao.org/wsfs/world-summit](http://www.fao.org/wsfs/world-summit)  
FAO日本事務所：ピックアップ：食料安全保障に関する世界サミット：  
[www.fao.or.jp/pickup01-2009.html](http://www.fao.or.jp/pickup01-2009.html)  
Secretariat contribution to defining the objectives and possible decisions of the World Summit on Food Security (pdf) : [www.fao.org/fileadmin/user\\_upload/newsroom/docs/Secretariat\\_Contribution\\_for\\_Summit%20.pdf](http://www.fao.org/fileadmin/user_upload/newsroom/docs/Secretariat_Contribution_for_Summit%20.pdf)



## 考えてみよう

### 危機における 食料安全保障の達成

 [www.fao.org](http://www.fao.org)

2009年10月16日 **世界食料デー**

国際連合食糧農業機関 (FAO)

「世界食料デー2009」日本語版ポスター ©FAO

## 世界食料デー2009

### ——危機における食料安全保障の達成

10月16日は、FAOの設立日で国連が定めた「世界食料デー」です。今年は「危機における食料安全保障の達成」をテーマに、世界の飢餓人口の7割が住む開発途上国の農村地域が、食料価格高騰や経済危機によってさらに苦境に陥っている状況に焦点を当て、農業への投資の重要性を訴えます。また、10月12-16日を「世界食料デー週間」とし、「2050年の世界をどう養うか」をテーマとしたハイレベル専門家会合や、世界食料安全保障委員会をFAO本部で開催します。(9/17、ローマ)

日本では世界食料デー／テレフードキャンペーンの一環として、10月16日に「テレフードチャリティーコンサート2009『大地の詩』」(横浜みなとみらいホール)を、25日には「世界食料デー・国際天然繊維年シンポジウム」(パシフィック横浜)を開催します。詳しくはFAO日本事務所のウェブサイトをご覧ください。

#### 関連ウェブサイト

World Food Day 2009 : [www.fao.org/getinvolved/worldfoodday](http://www.fao.org/getinvolved/worldfoodday)  
FAO Goodwill Ambassadors : [www.fao.org/getinvolved/ambassadors](http://www.fao.org/getinvolved/ambassadors)  
FAO日本事務所 : [www.fao.or.jp/news02.html](http://www.fao.or.jp/news02.html)

## 雑草の潜在的な脅威

### ——農家の天敵

世界における飢餓の原因には、政策的な失敗や、紛争、自然災害などが挙げられますが、もう1つ見逃されがちなのが雑草です。ニュージーランドの環境研究機関によると、雑草による耕作障害は年間950億ドルの損害を生み出しています。これは現在の市場価格で2009年の小麦の予想生産量の半分以上に相当します。アフリカでは、小規模農家は毎日手作業で草取りをしなければならず、こうした労働時間を勘案すると経済的損失はさらに大きいと考えられます。近代的な除草剤の適切な使用は、増大する食料需要への対応に必要不可欠ですが、除草剤への耐性が問題となりつつあるなか、非化学技術の利用が重要性を増しています。例えば輪作や、雑草の種子の混じらない良質の種子の使用は有効な方法の一つです。また、暑い夏に透明なポリエチレンを湿った土の上に置く土壌の日光消毒は、雑草のほか、土壌由来の病原体や害虫の管理に有効です。(8/11、ローマ)

#### 関連ウェブサイト

FAO Plant Production and Protection Department : [www.fao.org/agriculture/crops/agp-home](http://www.fao.org/agriculture/crops/agp-home)  
AGP Publications : [www.fao.org/agriculture/crops/core-themes/theme/biodiversity/weeds/publ](http://www.fao.org/agriculture/crops/core-themes/theme/biodiversity/weeds/publ)  
Soil solarization : an environmentally-friendly alternative : [ftp.fao.org/docrep/fao/010/i0178e/i0178e02.pdf](http://ftp.fao.org/docrep/fao/010/i0178e/i0178e02.pdf)

## サウジアラビア、 FAOのサミットに資金提供

サウジアラビア政府は、FAOが11月に開催する食料安全保障に関する世界サミットに、250万ドルの資金提供を行うことを表明しました。これはディウフFAO事務局長が7月に同国を訪問した際に申し出がなされたもので、事務局長は「世界にはいまだ10億を超える人々が栄養不足に苦しんでいるなか、サウジアラビアは飢餓と貧困への闘いの最前線にいます」と感謝の意を伝えました。(7/30、ローマ)

#### 関連ウェブサイト

FAO Proposal for a World Food Summit in 2009 : [ftp.fao.org/unfao/bodies/council/cl136/k5140e.doc](http://ftp.fao.org/unfao/bodies/council/cl136/k5140e.doc)



アブドゥッラー国王を  
表敬するディウフ事務局長  
©Al-Riyadh



## ハイチ農業復興の息吹 —FAOの種子配布計画

国民の6人に5人が農村に住むハイチでは、昨年4月に食料価格高騰をきっかけに暴動が起き、さらにその後のハリケーン襲来によって農民が保存していた多くの種子と農作物が流されてしまうなどの食料危機が続きました。FAOはハイチ政府の要請を受け、国際農業開発基金(IFAD)の資金協力を得て、25万人の小規模農家と土地なし農民に豆をはじめとする作物の良質な種子を配布すると同時に、マニュアルの配布やラジオ放送を通じて適切な耕作技術に関する助言やトレーニングを提供しています。調達された30万ドルの豆の種子から500万ドル相当の収穫が得られると見込まれています。昨年4月に240万人だった食料不足に苦しむ人々の数は今年6月には190万人へと減少しています。ハイチ政府は、さらに農業復興を進めるためにプログラムの延長を要請しています。(8/20、ローマ)

### 関連ウェブサイト

Latest Haitian government report on food security (in French) : [www.cnsahaiti.org/bulletins/Bulletins%20conjoncturel/Bulletin\\_22.pdf](http://www.cnsahaiti.org/bulletins/Bulletins%20conjoncturel/Bulletin_22.pdf)  
International Fund for Agricultural Development : [www.ifad.org](http://www.ifad.org)

豆、トウモロコシ、ソルガム、野菜、コメの種子に加え、ペビーバナナの木、サツマイモとキャッサバの種イモを農民に配布した(ハイチ) ©FAO/Thony Belizaire



チリの農園で七面鳥のH1N1インフルエンザ感染が確認された ©FAO/Ami Vitale

## 七面鳥にH1N1インフルエンザ感染が広がる恐れ

チリ政府当局は、港町バルパライソ近くの2農園で七面鳥にH1N1インフルエンザウイルス感染が確認されたことを報告しました。このウイルスは現在ヒトへの感染が広がる新型インフルエンザと同じ型で、感染率が高いものの毒性はそれほど強くありません。しかし東南アジアで多く確認されている鳥インフルエンザのような毒性の強いH5N1型と結びつく危険性が非常に高まるため、FAOは国際獣疫事務局(OIE)、世界保健機構(WHO)とともに感染の動向を注意深く見守っていきます。(8/27、ローマ)

### 関連ウェブサイト

About H1N1 in pigs : [www.fao.org/AG/AGAInfo/programmes/en/empres/AH1N1/Background.html](http://www.fao.org/AG/AGAInfo/programmes/en/empres/AH1N1/Background.html)  
Avian influenza : [www.fao.org/avianflu](http://www.fao.org/avianflu)

## 今月の視点

### 農村における 女性の雇用機会の拡大

開発途上国の農村において、女性は、食料生産の60-80%を担うとともに、薪や水の確保、子育て、高齢者の介護などの様々な仕事を行っています。女性は、このような家事労働に長時間携わっている一方、有給の雇用機会は多くありません。

資産へのアクセスが不十分なことも、女性の雇用拡大の妨げとなっています。女性は、土地や水といった天然資産へのアクセスが認められていないことが多く、土地の所有権の欠如は、融資等金融資産へのアクセスを困難にします。また、ネットワークや組織といった社会的資産へのアクセスを欠くことも多く、意思決定プロセスへの影響力が弱くなります。さらに、エネルギー、技術、交通等の物理的資産へのアクセスが限られていることのほか、教育等の人的資産の面でも不利な立場にあります。

このような制約要因に手を付けず、女性の役割を家事労働に限定してしまうことは、家計所得の増大や経済成長の可能性を失うことを意味します。飢餓・貧困からの脱却という観点から、女性の能力向上、男女の役割の見直し、公共サービスの充実等を図りながら、開発途上国の農村における女性の雇用機会を拡大することは重要な課題です。

(FAO日本事務所長 横山光弘)

関連報告書 : 「Women and Rural Development : Fighting Poverty by Redefining Gender Roles」 FAO, 2009  
[ftp.fao.org/docrep/fao/012/ak485e/ak485e00.pdf](http://ftp.fao.org/docrep/fao/012/ak485e/ak485e00.pdf)

# Activities

## 関連イベント

8月19-20日、横浜市等の主催で「子どもの『働く』ことへの実感」「学校では学ぶことができない『体験・発見』」をテーマに、さまざまな仕事を見学・体験できる「子どもアドベンチャー2009」がパシフィコ横浜にて開催されました。19日にはFAO日本事務所が出展し、(特活)ハンガー・フリー・ワールドの協力で、エンディング・ハンガー・ゲームを行い、世界の食料問題について学ぶ時間も設けました。



エンディング・ハンガー・ゲームで世界の現状を体感 ©FAO/LOJ

8月21日、パシフィコ横浜で開催された横浜市等主催の「世界子どもスポーツサミットin横浜」にFAO日本事務所が出展し、パネル展示を行いました。

8月21-23日にはアジア学院(栃木)においてICFによる第6回ファームキャンプが行われました(FAO日本事務所後援)。キャンプに先立ち行われた説明会では、FAO日本事務所のスタッフがFAOの活動と世界の食料問題についての講義を行い、参加者が熱心に耳を傾けました。キャンプ当日は、神奈川県下の小学3年生から高校3年生まで18名の参加者が朝夕、アジア学院の留学生たちとともに牛や豚、ニワトリ、畑などの世話を行いました。

9月5-6日、パシフィコ横浜で横浜国際フェスタ2009が開催され、FAO日本事務所がブース出展しました。ブースでは、ガールスカウト神奈川県支部の有志の方々にもFAO応援団として協力いただきながら、FAOの活動を紹介したり、募金活動を行いました。クイズラリーに参加して、世界の飢餓人口についてのクイズに挑戦する親子連れや、FAOへの就職に関心のある学生などがブースを訪れ、世界の食料農

業問題などについて熱心に話を聞いていました。



横浜国際フェスタのFAOブースの様子 ©FAO/LOJ

## 関連ウェブサイト

横浜市：子どもアドベンチャー2009：[www.city.yokohama.jp/me/gakusyu/adv](http://www.city.yokohama.jp/me/gakusyu/adv)  
日本トリアスロン連合：世界子どもスポーツサミットin横浜：[www.jtu.or.jp/yokohama/event/summit.html](http://www.jtu.or.jp/yokohama/event/summit.html)  
横浜国際フェスタ2009：[yokohama-festa.org](http://yokohama-festa.org)

## 講演

9月17日、第1回食料・農業協力講演会が行われ、「越境性／新興動物伝染病の現状と対策」をテーマに国際獣疫事務局(OIE)アジア・太平洋地域代表の藤田陽偉氏よりお話をいただきました(JAICAF・農林水産政策研究所共催)。重症急性呼吸器症候群(SARS)、鳥インフルエンザ、牛海綿状脳症(BSE)など越境性／新興動物伝染病の動向が報告され、こうした疾病が最近増えている要因として、グローバル化による旅行者や貿易の増加、従来人の住んでいなかった地域への移動、環境の変化、農業生産方式の変化などが紹介されました。また、疾病の防除に向けたOIEの取り組みや、FAOをはじめとする人獣共通感染症を扱う他機関との連携について紹介がなされました。



講師の藤田氏 ©JAICAF

## 関連ウェブサイト

JAICAF：ニュース：[www.jaicaf.or.jp/news/index.htm](http://www.jaicaf.or.jp/news/index.htm)

## 今後の主な活動予定

2009.10.3-4

グローバルフェスタ JAPAN2009

東京/日比谷公園  
外務省ほか共催、FAO日本事務所ブース出展

2009.10.7

第2回食料・農業協力講演会  
「蜂群崩壊症候群に学ぶ  
養蜂振興の基盤整備」

講師：中村 純氏(玉川大学ミツバチ科学研究センター教授)  
東京/政策研セミナー室  
JAICAF・政策研共催

2009.10.12-13

The High-Level Expert Forum on  
“How to Feed the World in 2050”  
FAO Headquarters, Rome

2009.10.14-17

Committee on World Food  
Security (CFS) ; 35th Session,  
FAO Headquarters, Rome

2009.10.16

世界食料デー

テレフードチャリティコンサート2009  
「大地の詩」

神奈川/横浜みなとみらい大ホール  
FAO日本事務所ほか主催、JAICAFほか後援

2009.10.25

世界食料デー・  
国際天然繊維年シンポジウム

神奈川/パシフィコ横浜 会議センター  
FAO日本事務所主催、JAICAFほか後援

2009.11.6-7

第48回農林水産祭  
「実りのフェスティバル」

東京/東京ビックサイト  
農林水産省ほか主催、FAO日本事務所ブース出展

発行：(社)国際農林業協働協会 (JAICAF)

〒107-0052

東京都港区赤坂8-10-39 赤坂KSAビル3階

TEL：03-5772-7880

E-mail：[fao@jaicaf.or.jp](mailto:fao@jaicaf.or.jp)

URL：[www.jaicaf.or.jp](http://www.jaicaf.or.jp)

共同編集：宮道 りか、Linda Yao (FAO日本事務所)

森 麻衣子、廣瀬 ちづる (JAICAF)

翻訳協力：大軒 恵美子 ほか

デザイン：岩本 美奈子、藪内 新太

News source：[www.fao.org](http://www.fao.org)

この用紙は再生紙を使用しています

FAO  
Newsletter

Oct. 2009

vol.43